

「CBDC フォーラム」への応募書式

「CBDC フォーラム」（以下「フォーラム」といいます。）への参加を希望する法人におかれては、下記1. および2. の事項を記入のうえ、下記3. の方法に従ってご提出ください。パイロット実験やフォーラムの概要、選定プロセスの詳細については、『「CBDC フォーラム」への参加説明会資料』（2023年3月16日公表）をご覧ください。

記

1. 基本情報

法人の商号または名称：

本店または主たる事務所の所在地：

法人番号^(注)：

(注) 国税庁ウェブサイト (<https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>) に従い、半角数字でご記入ください。法人番号を付与されていない場合には、空欄でご提出ください。

法人のウェブサイト URL（開設している場合）：

応募にかかる代表者^(注1)・連絡先：

	氏名	部署名・役職	メールアドレス ^(注2)	電話番号
代表者1				
代表者2				

(注1) 役職は問いませんが、フォーラムへの実際の参加を予定される実務者の方を登録頂くことを推奨します（なお、実際に参加者として選定された場合には、ご担当頂くテーマに応じて代表者以外の方を登録することが可能です）。

(注2) 勤務先または所属先から付与されている業務用のメールアドレスをご記入ください。

(注3) ご記入頂きました個人情報、フォーラム参加者の選定を行う目的のみに利用させて頂くとともに、日本銀行「プライバシーポリシー」に基づき適切に管理いたします。

上記1. にかかる記載については、内容に相違ないことを誓います。

2. フォーラムへの参加について

(1) 貢献可能な議論・検討テーマ

＜ご担当頂ける議論・検討テーマの種類＞

- フォーラムにおける議論に貢献可能な議論・検討テーマを選択（複数回答可）してください。

—— 日本銀行では、概ね下記のすべての議論・検討テーマをカバーする観点から参加者の選定および参加者毎の担当テーマの指定を行います。議論の主導やプレゼンといった形で貢献して頂くことが可能なテーマはすべて選択して頂くようお願いします。

【議論・検討テーマ一覧】

①バックエンド関連

- 基本的な機能にかかる事務フロー
 - 各種事務フロー（発行・還収、払出・受入、送金はもとより、口座開廃、逆引き送金等の付加的な事務も含む）への意見、エンドツーエンドでの事務フローに関する既存事務への影響、その他各種リテール取引運用（異例時対応、窓口業務等）への影響に関する考察
- 現金とCBDCの交換
 - 現金とCBDCの交換方法のあり方（ATMでの交換や窓口での交換を想定した場合の事務フロー、既存の事務や運用の活用可能性等）に関する留意事項の洗い出し、解決策の提案
- 勘定系システムとの接続
 - CBDC払出・受入業務を想定し、金融機関の勘定系システム（このほか、

データウェアハウス等の情報系システムや営業店システム等の事務系システムを含む)と CBDC システムを接続する際の、留意事項の洗い出し(運用面、技術面、接続仕様に関する留意事項等)、解決策の提案

- 民間決済インフラとの接続
 - CBDC システムと民間決済インフラを接続すると想定した際の、メリット・デメリットの整理、留意事項の洗い出し(運用面、技術面、接続仕様に関する留意事項等)、解決策の提案
- 既存のインターネットバンキングアプリ等との連携
 - 金融機関の既存のインターネットバンキングアプリ等を通じて CBDC の取引(払出・受入、送金、残高照会等)を可能とする場合の、既存システムと CBDC システムとの連携にかかる留意事項の洗い出し(運用面、技術面、接続仕様に関する留意事項等)、解決策の提案

②民間リテール決済システムにおけるプラクティス

- 民間リテール決済システムにおけるプラクティス
 - 台帳部分等の設計・実装に関する、性能を考慮した技術面に関するプラクティスの紹介と、これをもとにした CBDC への提案
 - 可用性・信頼性を考慮した技術面、事務運用や体制面に関するプラクティスの紹介と、これをもとにした CBDC への提案

③フロントエンド関連

- KYC、AML/CFT の実施
 - 既存の資金決済における KYC の方法やその留意事項の整理、CBDC の事務フローや特性を踏まえた KYC の高度化に向けた技術的な方法や事務運用面の提案
 - 既存の資金決済における AML/CFT の方法やその留意事項の整理、CBDC の事務フローや特性を踏まえた AML/CFT の高度化に向けた技術的な方法や事務運用面の提案
- 認証・認可
 - 既存の資金決済における認証・認可の方法やその留意事項の整理、CBDC の事務フローや特性を踏まえたユーザ認証・認可の高度化や取引認証の高度化のための技術的な方法や事務運用面の提案
- エンドポイントデバイス
 - スマートフォンを考慮した場合、CBDC の事務フローや特性を踏まえ

- た、技術面、事務運用面等での留意事項の整理、解決策の提案
- カード型デバイスを考慮した場合、CBDC の事務フローや特性を踏まえた、技術面、事務運用面等での留意事項の整理、解決策の提案
- 店舗決済端末について、CBDC の事務フローや特性を踏まえた、技術面、事務運用面等での留意事項の整理、解決策の提案
- ウォレットアプリ・店舗決済端末等の普及方法に関する提案
- UI/UX (ユーザーインターフェース、ユーザーエクスペリエンス)、アクセシビリティ
 - ウォレットアプリ・店舗決済端末等における UI/UX デザインのあり方に関する提案
 - ご高齢の方や障害をお持ちの方を含むすべての利用者が CBDC を利用しやすくする方策に関する提案 (アクセシビリティ)
- 電子マネー等との交換容易性
 - 既存の民間電子マネー等 (現金・預金以外) と CBDC の交換を行う際の技術面、事務運用面等での留意事項の整理、解決策の提案

④追加サービスとエコシステム

- CBDC のビジネス活用 (追加サービスのあり方)
 - 「デジタル社会にふさわしい」決済システムのコンセプトの具体化
 - 追加サービスの類型とユースケース (プログラマビリティ、追加サービスにかかる情報の利活用に関する議論を含む)、役割分担、等
- 追加サービスにかかる CBDC システムの外部連携
 - 追加サービスにかかるオープン API、SDK・サンドボックス機能の提供、「組み込み型 (embedded) CBDC」のコンセプト、等
- CBDC エコシステムのデザイン
 - サービス基盤としての CBDC に求められる仕様、追加サービス提供事業者 (ディベロッパー) のコミュニティ運営、エコシステムのサステナビリティ (API のアップデートやメンテナンスなど)、等

⑤代替的なデータモデル等

- 代替的なデータモデルの選択肢 (UTXO 等)
 - 各データモデルの比較 (スループットやレイテンシなどの処理性能、開発・運営負担、環境負荷、オフライン決済との親和性、プログラマビリティの実装容易性、等)
 - アセットトークナイゼーションと CBDC (アセットトークナイゼーショ

ンと CBDC の関係、DLT 基盤との相互運用性、等)

□ オフライン決済

- 社会的ニーズと有用性 (ユニバーサルアクセス、レジリエンス、等)
- 技術的な選択肢の比較 (データモデル、偽造・二重支払い等のリスク、利便性、等)
- オフライン決済とオンライン決済の連携

<ご担当頂けるテーマの数>

- 上記で選択頂いたテーマのうち、議論の主導・プレゼン等のご担当が可能と考えられるテーマの最大数を記入してください。

<記入欄>

- 各テーマの担当先数、具体的な議論・検討の進め方は、テーマごとに異なりますが、1つのテーマを担当すると、少なくとも数か月に1回程度、プレゼンを行って頂く (そのほか、モデレータやディスカッサントも同様の頻度で務めて頂く) ことになるとの想定でご記入ください。また、各テーマの議論・検討を並行的に進める可能性がある点にもご留意ください。
- それぞれご担当頂く議論・検討テーマに関連して、業務企画、決済企画、システム企画または決済関連研究開発などの経験が豊かな実務者 (少なくとも数年程度の実務経験を想定。原則、議論・検討テーマごとに各1名) をご登録頂き、継続して参加して頂く想定です。

(2) 議論・検討テーマに関連した知見・実績等

- 上記の議論・検討テーマに関連した知見・実績等を記入してください。
 - (1) で選択した議論・検討テーマに関連した項目にご記入ください。それ以外の項目へのご記入はなくても結構です。
 - 知見・実績等を示すのに必要な限りにおいて、関連資料 (応募者が自ら作成した公表資料か、報道機関や公的機関などの第三者が作成した公表資料かを問いません) を3点 (合計10MB以内) まで添付して提出することが可能です。

- A：「①バックエンド関連」に掲げた議論・検討テーマに関連する知見・実績。たとえば、勘定系システム等の運営に関する知見・実績のほか、リテール決済・ビジネスの業務運営に関する知見・実績等（最大1,000字程度）
- 後者については、直近決算時点のリテール預金口座数（応募者が預金取扱等金融機関の場合）や契約者数（応募者が預金取扱等金融機関以外のリテール決済事業者の場合）などのほか、実際のビジネスやサービスの概要などを記載ください。

<記入欄>

--

B : 「②民間リテール決済システムにおけるプラクティス」に掲げた議論・検討テーマに関連する知見・実績。たとえば、民間リテール決済システムの構築・運営に関するシステム面（性能や可用性・信頼性）の知見・実績等（最大 1,000 字程度）

< 記入欄 >

--

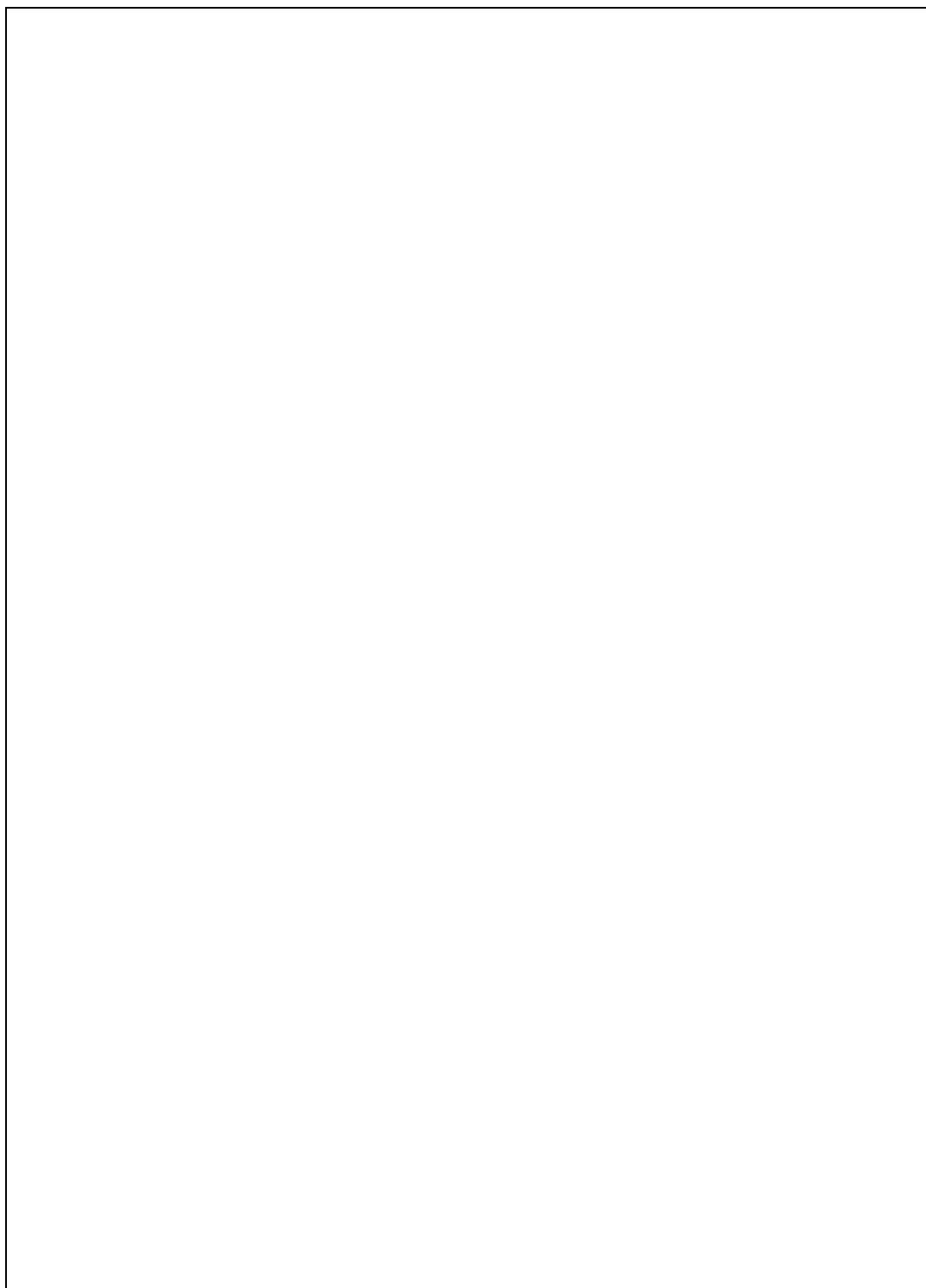
C : 「③フロントエンド関連」に掲げた議論・検討テーマに関連する知見・実績。たとえば、ウォレット機能の提供やエンドポイントデバイスの技術・運用等に関する知見・実績等（最大 1,000 字程度）

< 記入欄 >

--

D : 「④追加サービスとエコシステム」に掲げた議論・検討テーマに関連する知見・実績。たとえば、決済サービスのエコシステムに関する知見・実績や、CBDC にかかる「追加サービス」に関する提案等（最大 1,000 字程度）

<記入欄>



E:「⑤代替的なデータモデル等」に掲げた議論・検討テーマに関連する知見・実績。たとえば、代替的なデータモデルの選択肢（UTX0等）、アセットトークナイゼーション、オフライン決済にかかる知見・実績等（最大1,000字程度）

<記入欄>

--

F：どの議論・検討テーマを選択したかによらず、CBDC や決済システムに関連した各種会合などへの参加実績や、その他特記事項があれば、ご記入ください（最大 1,000 字程度）

—— 例：日本銀行主催の中央銀行デジタル通貨に関する連絡協議会、決済の未来フォーラムデジタル通貨分科会、中央銀行デジタル通貨ラウンドテーブル、金融庁主催の金融審議会「資金決済ワーキング・グループ」、その他民間事業者が主催する CBDC・決済関連の会合への常設メンバ・パネリスト・プレゼンタ・モデレータとしての参加の実績など。

< 記入欄 >

--

- 上記2. にかかる記載については、内容に相違ないことを誓います。内容確認のため日本銀行から依頼があった場合には、資料の提出を含む追加的な情報の提供に応じます。

3. 提出方法

- 本書式については、PDF に直接ご入力頂けるフォーム形式としています。提出の際には、本書式をダウンロード頂いたうえで、アドビ株式会社が配布している Adobe Reader を用いてフォームに直接ご入力ください。印刷した上での手書きの入力や、word 形式への変換などをご遠慮頂くようお願いいたします。PDF のフォーム形式以外の方法によってご提出頂いた場合には、再提出をお願いさせて頂くことや、有効な応募として扱わないこともありますので、ご承知おきください。
- 記入済みの本書式については、ファイル名を「応募者名（略称可）.pdf」とし、【2023年4月28日（金）12:00】までに、下記メールアドレスに提出してください^(注)。その際、件名は以下のとおりとし、本文は空欄としてください。

(注) 1. に記した代表者2名をメールに含めてください（送信者もしくはCC）。

(提出先アドレス) 日本銀行決済機構局： post.pssd73@boj.or.jp

(件名) CBDC フォーラムへの応募書式の提出 (●●●●)

※「●●●●」は1. で記入頂いた法人名を入れてください。

- 日本銀行では、ご提出頂いた本書式を踏まえて所要の審査を行い、本年6月入り後に審査結果をご連絡します。その後、順次規約締結作業を行い、7月中を目途に参加者の一覧を公表する予定です。審査の過程または結果に関する応募先からのお問い合わせには一切応じかねますので、予めご承知おきください。
- なお、プロジェクト管理支援・技術コンサルティング等にかかる委託先（現在、調達手続を実施中）はフォーラム参加者となることはできないほか、実験用システム構築にかかる委託先選定（7月以降を予定）においては、入札の公平性を期する観点から、フォーラム参加者となった法人に対して入札制限を付す予定であるため、フォーラム参加者への応募にあたってはご留意ください（入札に参加した先については、委託先選定の終了後に必要に応じてフォーラム参加者の追加募集を検討）。

—— なお、フォーラム参加者が、直接の入札参加者（日本銀行から見た場合の直接の委託先）となることには制限がかかりますが、これ以外のケースについては、「CBDC フォーラム」参加規約への同意を前提として、入札制限はかかりません。例えば、フォーラム参加者が入札者の委託先（日本銀行から見た場合の再委託先）となることや、フォーラム参加者の関係会社（親子・兄弟会社等）が直接の入札参加者となることに対しては、特段の制約はありません。

以 上